板橋ふれあい農園会給食だより

1月　長ねぎ

板橋ふれあい農園会とは、板橋区で農産物を作っている区内農家の方の会です。学校に新鮮で安全な野菜を届けてくださいます。今年度、最後にお届けする「**長ねぎ**」は、山口賢治さん、染宮利章さん、石井規弘さん、木村繁夫さん、田中耕太郎さんが作ってくださったものです。

◆◇◆木村繁夫さんに聞きました！長ねぎができるまで◆◇◆

種まき（３月頃）

土の上にのせたシートの穴に種をまきます。成長すると苗になります。

木村繁夫さんは３月よりも早い前年の10月頃に土に直接、種をまくっちぃ！いろいろな方法があるっちぃ！

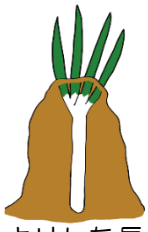
苗植え（６月から７月頃）

育った苗を畑へ運び、植えます。

土よせ（苗植えから１か月後）

成長に合わせて、20～30日ごとに土をかける作業を「土よせ」といいます。土よせでは長ねぎを支えるようにわらをおきその上に土をかけます。このわらは長ねぎを守り、畑の栄養にもなります。土をかけた部分は太陽の光が当たらず、長ねぎの白いところになります。

○の部分が伸びた時期を見計らって土よせするっちぃ！



【土よせした長ねぎ】

木村繁夫さんはわらと一緒に収穫の終わったとうもろこしの茎や葉なども使うっちぃ！

【11月29日の畑の様子】

収穫（１月頃）

握りしめて抜くと長ねぎが傷付いてしまうため、スコップで周りの土を取り除いてから、優しく手で抜きます。

～木村繁夫さんからのメッセージ～

今年の夏はとても暑く、育てるのに苦労しました。
一生懸命育てた長ねぎを味わって食べてください。